

栃薬工だより 第19号

第45回栃木県公衆衛生大会及び第43回栃木県公衆衛生学会開催

平成17年9月9日(金)、栃木県総合文化センターにて行われました。

■第45回栃木県公衆衛生大会

今回は、当工業会の佐藤友延会長(グラクソ・スミスクライン(株))が保健衛生事業功労者大会長表彰(薬事部門)、(株)シーボン栃木工場が薬事衛生優良施設の部で大会長表彰を受賞されました。

また、昨年行われました第42回栃木県公衆衛生学会において、「新注射剤棟建設コンセプト(品質関連を中心に)」を発表されました、持田製薬工場(株)の中野秀美様が、平成17年度栃木県公衆衛生学会長表彰を受賞されました。おめでとうございます。



グラクソ・スミスクライン(株)
佐藤 友延 様



(株)シーボン
塚原 澄子 様



持田製薬工場(株)
中野 秀美 様

■第43回栃木県公衆衛生学会

午後から行われた学会では、ジェーピーエス製薬(株)栃木工場、中外製薬(株)宇都宮工場、日研化学(株)真岡工場、マニー(株)清原工場の計4社が、栃木県保健福祉部薬務課長の宇賀神貞夫座長のもとで、それぞれの演題を発表されました。



「医薬品原料としての生薬中の指標成分管理について」
ジェーピーエス製薬(株)
富永 英夫 様



「注射剤の検査について」
中外製薬(株)
行方 透 様



「輸液製剤におけるバイオバーデン管理について」
日研化学(株)
佐藤 裕行 様



「ISO14001・OHSAS18001同時取得について」
マニー(株)
関 政啓 様



学会風景

第一線で活躍される方々の発表をお聞かせいただき、大変有意義なひとときでした。
発表者の皆様、ありがとうございました。

県外優良施設現地視察研修会

平成17年度の視察研修は、去る10月27日(木)～28日(金)の1泊2日の日程(山形・宮城方面)で開催されました。(参加者24名)

出発時にはどんよりとした空でしたが、東北自動車道を北上するにつれて天気はよくなり、山形自動車道に入るところには快晴となり、紅葉の始まった山々の景色を車中より楽しむことができました。

正午には、天童市に到着し、昼食会場で午後の視察研修に備えて腹ごしらえです。

天童市は将棋の駒の生産地として有名ですが、街中を流れる倉津川には、王将橋、金将橋など、将棋の駒の名前のついた橋があります。ちなみに、昼食会場近くの橋は飛車橋でした。

今回の視察先は、天童市内にある「日新製薬株式会社」の工場です。

広大な敷地内にある5階建ての工場では、注射剤・内用固形薬・坐剤など多くの種類のジェネリック医薬品などが製造されております。見学は6名ずつ、4班に分かれて行われました。特に、ポリエチレンボトル注射剤のパルス光滅菌機に見学者の注目が集まり、見学終了後も質問が寄せられ、工場側から懇切丁寧な説明がありました。

また、300名を超える従業員のはつらつとした仕事ぶりと、若さあふれる明るい職場には、バスの長旅で疲れた参加者一同も非常に元気づけられました。

現在、隣接敷地に工場増設計画があるとのことであり、今後の発展がますます期待されます。

約1時間半の見学にあたっては、永見工場長、向田総務課長の両名及び各部門の責任者の方々たいへんお世話になりました。紙上をお借りして御礼申し上げます。



その後、工場からバスで約10分のところにある山寺芭蕉記念館を見学しました。

ここは、300年以上も前に俳人松尾芭蕉がこの地で詠んだ「閑さや 岩にしみ入る 蟬の声」で有名な山寺(立石寺)の全景を一望できる場所にあります。

格調高い純和風造りの建物と中のいろいろな展示物は、訪れた私たちの心をなごませてくれたばかりでなく、しばし芭蕉の世界に浸る時間を与えてくれました。

芭蕉記念館を見学したのち、再び天童市内にもどり、国道48号線（関山街道）を仙台方面へと向かいました。関山トンネルを抜けるとすぐに作並温泉に到着し、今宵の宿である「鷹泉閣 岩松屋旅館」にチェックインしました。名湯天然岩風呂は、地下1階からさらに長い階段を降りていかなければならないのですが、開湯以来の長い歴史に培われてきた本物の温泉を堪能できたので、帰りの昇りの階段も全く苦になりませんでした。

さて、18時すぎからは懇親会が始まり、料理長の腕をふるった料理をいずれもおいしくいただきました。全部食べ終わったあとで、メニューの最後に記載されていたカロリーの数値（1,456キロカロリー）に気がつきましたが、時すでに遅し・・・。

また、旅館のお知らせの中にカメムシが大量発生している旨がありましたが、部屋での2次会の最中に、天井に1匹いるのを発見しました。会員の皆様は、アルコールが入っているにもかかわらず、カメムシの動きをつぶさに観察し、「さかさまになっているのに、落ちないのはどのようなしくみののだろう？」とか「これを何かに利用できないものか？」といった話題となり、さすがに理工系の技術者集団だと驚いた次第です。私には、いかに虫を駆除するのかといった貧困な発想しかできませんでした。お恥ずかしいかぎりです。

翌日の朝食はバイキング形式です。前述した夕食のカロリーなどはすっかり忘れてしまい、食欲の秋にふさわしい食べ方をしたことだけを付け加えておきます。

この日の行程は、旅館を8時半に出発し、2カ所目の視察先である「宮城県薬用植物園」へ向かいます。ここは仙台の南部、名取市内の宮城県農業センターの入り口にあり、植物園は宮城県薬務課が設置したものです。現在、管理運営は（社）宮城県薬剤師会に委託されています。

園内で約1時間、2班に分かれて、薬剤師会の方から薬用植物の説明を受けました。薬用植物といっても、漢方薬として使われるものだけでなく、普段はそれと気づかずに見ている雑草や野菜類もあり、あらためて植物のおもしろさを認識しました。



2カ所目の視察も無事終了し、このあと、バスは日本三景の一つである松島へ向かいました。到着して五大堂と瑞巖寺を見学しましたが、瑞巖寺の境内には、樹齢何百年という杉の巨木がたくさんあり、本県の日光杉並木と同様、ランの一種である薬用植物の「セッコク」が着生しています。売店わきには、開花時期（5月頃）のセッコクの美しい写真が飾ってありました。

昼食後は、松島から塩釜まで遊覧船に乗って、湾内のたくさんの島をながめながら約1時間の船旅です。天気は前日に続き快晴で、頬にあたる潮風がこちよく感じました。また、童心に返って船に寄ってくるかもめに餌をやったりして楽しい時を過ごしました。

塩釜でかまぼこ工場を見学後、帰路につき、途中のサービスエリアで休憩し、18時半に宇都宮へ戻ってきました。

途中特段のトラブルもなく、予定どおりのスケジュールで進行できたのも参加者の皆様方のご協力のおかげです。ありがとうございました。

最後に、今回の視察研修でお世話になった日本旅行宇都宮支店の田口さんと関東バスの運転手・ガイドさんにお礼申し上げて、旅行記を終了いたします。

（事務局 福田）

「栃木いのちの電話」より感謝状が贈呈される

社会福祉法人「栃木いのちの電話」は、昭和55年に、自殺防止のための電話相談を目的として開局され、昭和59年には社会福祉法人化され、現在はとちぎ福祉プラザ内に活動拠点を置く法人です。

当会は昨年創立30周年記念式典の記念事業として、同法人へ寄付を行いましたが、このたび同法人から下記写真のとおり当会へ感謝状が贈呈されましたのでお知らせいたします。



GMP研修会開催のお知らせ

本年4月に全面施行となりました改正薬事法について、会員各位におかれましては、その対応や運用において発生した様々な問題点などを解決すべく、日々ご尽力されているかと存じます。

このような状況の中で、本年度も県との共催で、次のとおり「平成17年度GMP研修会」を開催することといたしました。多くの方々のご参加をお待ちしております。

1 日時 平成17年12月2日(金) 15時開始(17時終了予定)

2 場所 宇都宮市上大曾492-1 ホテル東日本宇都宮

3 講演内容

(1) 「経営管理の面から考えるGMP遵守体制の確立について」

講師：西山経営研究所 西山 昌慶 氏

※GMP遵守体制の確立に向け、組織に内在する問題点とその対応策について、組織経営の面から、また、GMP実践現場におけるコスト削減のあり方についてもご講演をいただく予定です。

(2) 「栃木県におけるGMP査察状況について」

講師：栃木県保健福祉部薬務課 西宮 律子 主査

4 参加費 無料(当会会員以外の方は1,000円)

5 お問い合わせ

栃木県薬事工業会事務局(栃木県庁薬務課内)

電話 028-650-6163

「県内理工系学生のための製薬工場見学と懇談会」開催

本年度事業の一つである標記事業を、去る8月31日（水）、当会会員の持田製薬工場（株）様のご協力を得て実施いたしました。

当日は夏休み期間中にもかかわらず、宇都宮大学工学部、帝京大学理工学部及び国際医療福祉大学薬学部の3大学から15名の参加者がありました。

JR宇都宮駅から貸切バスで工場のある大田原市へと向かい、午前11時半に到着後、さっそく開会となりました。

当会の佐藤会長、県薬務課の宇賀神課長、持田製薬工場(株)の浅原事業所長の挨拶のあと、佐藤会長が当会の概要と県内の医薬品産業の状況について、薬務課の塚原課長補佐が医薬品関係の法的基準についてそれぞれ説明し、その後に工場の寶田製造管理者より工場概要と見学上の注意事項について説明を受けました。このあと、昼食をとり、午後から工場内を見学しました。

2班にわかれ、約1時間にわたり工場内の各製造ラインを見学後、宇賀神課長の司会進行で懇談会に移りました。

工場到着時や見学前はやや緊張した学生さんたちも、懇談会に入ると「他の工場と違うところは何か?」、「製薬会社の求める人材は?」などといった質問から、「環境保全関連の設備も見たかった」、「初めての工場見学だったが衛生管理が徹底されているのに驚いた」、「薬の研究開発部門も見たかった」などといった意見・要望まで出され、活発な懇談会となりました。

なお、事務局の準備不足で、事前に参加する学生さんの要望や質問等を取りまとめることができなかつた点をお詫びいたします。

最後に、開催にあたりまして、持田製薬工場(株)様の多大なる御協力を賜りましたことを、紙上をお借りして御礼申し上げます。



連載コーナー「ちょっとイイ話」は前回で終了し、今回からは、「隠れたとちぎの名物」というテーマで、県内の隠れた（隠れていないものも含む）名物や自慢できるものを紹介していきたいと思えます。

とはいっても、長く続くためには、どうしても食べ物中心になってしまうかもしれませんがご了承ください。

また、会員の皆様からのご投稿も大歓迎ですので、「県内にはこんなおいしいものがあるよ」とか、「これはあまり知られていないのでは？」といった名物などの情報をぜひお寄せください。

第1回目は、県庁所在地宇都宮のおいしいものをご紹介します。

今や、餃子の街として不動の地位を築いた感のある宇都宮市ですが、実は家計調査などによる食品類の消費状況を見ると、餃子だけでなく、お菓子類の消費も全国の県庁所在地ではかなり上位にあります。プリンが第1位、ケーキとようかんは第2位です。

そんな中で、市内でも（私が）特においしい（と思う）店は、宇都宮市若草町（栃木福祉プラザと国立栃木病院の中間くらいにある）の「クイーン洋菓子店」のケーキや菓子類です。

まずは、経営者の名を付けた「大濱ロール」は1本1,200円と、ほかの店のロールケーキに比べ少々高めですが、一度食べてみれば納得です。しっとり感のあるスポンジと栗の粒がはいったクリームの相性が抜群で、甘さもほどよく、いくらでも食べられそうです。食べ過ぎに注意したい方や、又はとりあえず味見という方には、小さくカットしたばら売りのもの（1個120円）を購入するといいでしょう。

いちごショートケーキやチーズケーキ、モンブランなどの定番メニューも、どれをとっても満足すること請け合いです。特に「クリームブリュレ」は最高です。砂糖の焦げた表面のぱりとした部分と、とろっとした中身、一回で二つのおいしさを味わえる洋菓子です。（1個420円）

生もの類ではおみやげに不便という方には、日持ちのする「ケーキ屋さんのラスク」はどうでしょうか？1個70円で、数十個単位での箱入りもあります。ちなみに、県外の知人へこれを送ったら非常によろこばれました。そして、早速、店へ直接注文したそうです。

また、「ブルーベリーメレンゲ」（1袋400円、10数個入っている）もおすすめです。1個、口の中へ放り込めばふわっと溶けて、次から次へと食べてしまい、あっという間に袋の中身が全部なくなってしまうということも・・・。

洋菓子ではなく和菓子がいいという方には、市内大通り1丁目（宮島町十文字近く）の「もちや」をおすすめします。ここの「田舎まんじゅう」は皮が厚いのが特徴です。あんもあまり甘くなく、2～3個くらいは軽くおなかに収まります。

それでも甘いのはいやだという方へは、栗の粒が表面にあるだけの「栗まんじゅう」やあんの代わりに高菜の油炒めが入った「高菜まんじゅう」がいいでしょう。いずれも1個100円程度、本店だけでなく、FKD福田屋ショッピングプラザの食料品販売店わきのコーナーで売っています。ついでにおいしいお茶を飲みたくなったら、となりのコーナーの「関口園」（本店は二荒山神社前）でお茶を購入しましょう。100グラム600円くらいから、いろいろ種類がありますが、おすすめは1,000円の「天下一」でしょうか？



クイーン洋菓子店



もちや

※お店の宣伝ではありませんので、地図、電話等の情報は掲載いたしません。ご了承ください。

編集
後記

最近、テレビ番組の「ダイエット特集」の数の多さには驚きです！私でも続けることの出来るものはないかと探していたところ、6分間という短時間でOKという有酸素運動を発見!!しかし、試してみたところ、筋肉痛に悩まされ断念…。結局、運動いらずの「コーヒーダイエット」に挑戦中です！

発行日 平成17年11月21日
発行所 栃木県菓子工業会
宇都宮市戸祭元町1-25
栃木県保健福祉会館内
TEL (028)650-6163
E-mail:yakumu01@beige.ocn.ne.jp